

政務レポート

# りれしよん

2015年1月15日  
鳥取県議会議員  
砂場隆浩  
鳥取市片原1-107

「Relation」とは1605年、ストラスブールでヨハン・カロルスが世界で初めて創刊した新聞です。直訳すれば「関係」。このレポートで県民の皆様と良い関係を築ければと願っています。

## 1年生議員で唯一、2回目の代表質問

# 目指すは元気で人に優しい鳥取

## 家計と経営支える政策を提言

知事や県議の任期は4月未まで。知事のマニフェスト「みんなでやらいや未来づくり」を通し、平井県政2期8年を検証。3期目への挑戦を表明されましたので「元気で人に優しい鳥取



明けましておめでとうございます。公選法で禁止されているため、年賀状が出せません。年始早々の失礼をお許し下さい。さて、昨年末の11月定例県議会では今期の1期生議員としては唯一、2回目の代表質問に立ち、午前10時から午後5時までじっくり平井知事や中島教育委員長らと質問戦を展開させていただきました。

### 知事マニフェストの達成度検証

県」を創る提言をしました。質問は三部構成。第一部は未来づくりの根幹を問いました。マニフェストの理念は「パートナー県政」です。県政のパートナーであ

### 代表質問の質問項目

- 一、「やらいや未来づくり」の根幹を考える
  1. 未来づくりのパートナーを考える
    - ①最大の県民参画は参政権の行使
    - ②パートナーシップを進化させる県政参画
  2. 未来を脅かす危険を考える
    - ①原発の安全性と再稼働の地元同意
    - ②自治体の存立基盤である住民の減少
    - ③県民の生命財産を奪う自然災害
    - ④国に振り回される地方財政
    - ⑤巧妙化・広域化する犯罪と高齢者の交通事故
- 二、「元気な未来づくり」をやらいや
  1. 「21世紀の資本論」の提起したもの
  2. 資本収益率を超える経済成長を鳥取で目指すための提言
    - ①フードバレー構想で「食のみやこ」を建都しよう
    - ②地元企業を支え、完全雇用を実現しよう
    - ③新産業創造で県民所得日本一目指そう
    - ④大交流時代を到来させ観光立県を実現しよう
    - ⑤NPOを地域経済の柱に育てよう
- 三、「人に優しい未来づくり」をやらいや
  1. 人が人として大切にされる優しい地域づくりのための提言
    - ①長寿を喜べる鳥取を創ろう
    - ②子どもが伸び伸び育つ子育て王国を建国しよう
    - ③障がいと個性と言い切れる鳥取を創ろう
    - ④人が人として大切にされる鳥取を創ろう
  2. 「未来づくり」の羅針盤は「優しさ」

### 県民参画

る県民の皆様は県政へ積極的に参加いただきたいと願っていますし、この日が総選挙の公示日でしたので、近年の低投票率を知事がどう認識されているかから質問を始めました。

台湾の統一地方選を例に、「世界的にデモクラシーに対する信頼が失いかけているが、鳥取にはデモクラシーを起こせる風土がある。鳥取からパートナーシップの県政を起こしていきたい」と答弁がありました。

パートナー県政を確かなものにしようという県民参画基本条例を制定しましたが、県民電子アンケートの参加者は488人。374ある審議会のうち、公募委員を選任できたのは12審議会。これは問題ではないかと問

いました。知事は「アンケート参加者が増える仕組みづくりをキャンペーン的なことも含めて検討したい。公募委員は担当部局の認識が十分ではないところが見られるので、徹底して改善し、順次改選期をにらみながら増やしていきたい」と率直に答えられました。